

試験成績書

ツーウェイワールド株式会社 御中

殺菌効力試験結果

1. 検体

2020年4月1日依頼 計2点 (3/25受取品)

十美LAB ハトジエ

2. 試験方法

(1) 試験菌 (計2種)

<i>Escherichia coli</i>	NBRC 3972	(大腸菌)
<i>Staphylococcus aureus</i>	NBRC 13276	(黄色ブドウ球菌)

(2) 試験菌液の調製

各試験菌を、SCD 寒天培地で30℃、24時間前培養する。前培養菌を滅菌生理食塩水に懸濁し、約 10^8 個/mLに調製したものを試験菌液とする。

(3) 試験操作

検体19.8gを滅菌バール瓶にとり、試験菌液を1%量(0.2mL)接種する。これを(4)項に示した作用温度で保存し、規定時間後にその1gを採取して、LP希釈液* 9mLで希釈する。この希釈液をさらに段階希釈し、寒天平板混釈法により生菌数を測定する。

なお対照として、検体を滅菌生理食塩水に代えて同様に操作し、規定時間後に生菌数の測定を行う。

* LP希釈液：ポリプロピレン 1g、イグレートン 0.7g、ポリリット 80.20g、精製水 980mL

(4) 作用条件

作用温度：25℃ (恒温器)

作用時間：検体 5分、30分、1時間

対照 接種直後、1時間

(5) 生菌数の測定培地および培養条件

SCDLP 寒天培地、30℃、3日間。

3. 試験結果

〈表〉 殺菌効力試験結果

試験菌	検体	作用時間と菌数値 (個/g)			
		接種直後	5分	30分	1時間
<i>E. coli</i> (大腸菌)	対照 (滅菌生理食塩水)	1.4×10^6	-	-	1.4×10^6
	十美LAB ハドヅィル	-	$<10^1$	$<10^1$	$<10^1$
<i>S. aureus</i> (黄色ブドウ球菌)	対照 (滅菌生理食塩水)	1.4×10^6	-	-	1.3×10^6
	十美LAB ハドヅィル	-	$<10^1$	$<10^1$	$<10^1$

4. まとめ

いずれの検体とも、各試験菌を5分の作用で殺滅 (5桁以上) した。

以 上